



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続において -

平成29年8月15日
我孫子市小中一貫教育だより
第170号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中学校の初任者の教員が共に学んだうなー！

8月9日（水）に、小中学校初任者研修「地域の特色ある研修」を、実施しました。初任者研修は、年に20回程実施され、普段は小学校は小学校で、中学校は中学校で実施しています。

今回の研修は、市内の小中学校教員が一堂に会して共に学び合う場であり、小中の交流の貴重な機会でもあります。（この研修は一昨年から毎年実施しており、TSUNAGU第72号と第124号でも紹介しました。）

参加した小中学校教員の声を中心に紹介します。

小中学校の教員が共に学びました！

今回の研修は1日研修で、午前中には「我孫子の文化的魅力を学ぶ研修」と「鳥の博物館で学ぶ研修」を行い、午後には「Q-Uの意義と活用に関する研修」と「小中学校教員の情報交換」を行いました。

特に、午後の研修では、小中学校の教員が意見を交換させる場面が多くあり、互いに見識を深め合うことができたようです。



参加した教員の声の一部を紹介します！

- 小中学校の教員が共に学ぶことで、互いに悩んでいることや上手くいったことを共有でき、勉強になりました。（中）
- 中学校生活を学習面や生活面でスムーズに始められるように、小学校でも丁寧に繰り返し指導をしていきたいと思いました。（小）
- 小中学校の教員が情報交換をすることで、考えの幅を広げることができた。我孫子で働く教員として、この繋がりを大切にしたいと思いました。（中）
- 小学校と中学校では、様々なことが異なると思います。でも、今回のような情報交換を行うと、我々教員は、最後には同じ思いにたどりつくということを感じました。（小）
- 小中学校の教員が連携することにより、子ども達の学力向上や人間性の向上に繋がるといっていました。これからも、共に研修を重ね同じ方向で指導をしていきたいです。（中）
- 小中学校で校種は異なっても、教科指導、ノートの書き方、生徒指導等、共通理解を図って統一できる部分を探っていけば、子ども達の安心感に繋がるといっていました。（小）



様々な教員の研修を、小中の交流という観点を織り交ぜて実施することにより、無理なく小中一貫教育を推進、継続していくことができます。

これからも、小中学校の教員が力を合わせて、我孫子市の目指す15歳の子どもを育てていくうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年7月19日
我孫子市小中一貫教育だより
第169号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

我孫子中学校の2年生の学習を、Abi-キャリアの観点で参観したうなー！

7月19日（水）に、我孫子中学校の2年生が、「卒業生（高校生）から学ぶ会」を実施しました。

「TSUNAGU 168号」で紹介したとおり、我孫子中学校では、中学2年生の段階で自分達の進路について考える学習を計画的に実施しています。

今回は、我孫子中学校の卒業生を講師として招いて、実際に自分達が進路を選択する際に、どのようなことを考えてどのような行動をしたのか等を教えてもらいました。生徒達は、一番身近な先輩達の話に耳を傾け、自分達のこれからについて、真剣に考えることができたようです。

我孫子中の2年生が先輩高校生から学びました！

我孫子中学校体育館に、我孫子中を卒業した先輩の高校生が来校しました。

今回、来校した高校生は男女2名ずつの4名です。中学生の代表者が中心となって高校生に質問をし、それに対して高校生達は丁寧に答え、中学生と高校生の対話形式で会は進行しました。

<みなさんは、どのように高校を選ばいいと思いますか？>

- 家からの距離や高校の雰囲気を選ばいいと思います。（中）
- やりたいことのある学校がいいと思います。（中）

<中学2年生として、今、何をすべきなのでしょう？>

- 私は、中学生の時、部活を頑張っていました。そして、そこで仲間と協力することの素晴らしさや礼儀等を学びました。そのようなことが、今後に繋がると思います。（高）
- 厳しい部活動の練習に耐えて頑張ったことは今、大きな力になっています。また、委員会活動等に一生懸命取り組んだことで、自分をアピールする力をつけることができました。日頃の活動を一生懸命行うことが大切です。（高）
- 一番大切なことは、自分で考えて努力することです。そして、努力を積み重ねることです。点を線に繋ぐような努力をして欲しいと思います。（高）

<今の自分をよりよい自分にするためにどうすればいいですか？>

- 目標を持って計画的に行動すればいいと思いました。また、常に自分から動くことで、人よりも大きく成長できると思いました。（中）
- 1つ1つの積み重ねを大切に、時間を有効に使って努力していけばよいということがわかりました。（中）
- 進路の選択は、必ず通る道です。必ず悩む時が来ます。その時に、助けや支えになるのは、日頃から自分が頑張ってきた積み重ねた努力です。まずは、自分で考えて目標を立ててください。そして、地道に努力を積み重ねることが自分を成長させる道だと、私は



小学校で職業に興味を持ち、中学校で実際に職場体験を実施し、そこで学んだことを、自分達の進路の選択や将来の生き方に繋げる。そして、子ども達が学んだことが、次の世代に引き継がれていく...

我孫子中学校区の9年間は、キャリア教育の観点で繋がっているということを実感することができるうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年7月18日
我孫子市小中一貫教育だより
第168号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

我孫子中学校の2年生の学習を、Abi-キャリアの観点で参観したうなー！

7/13(木)に、我孫子中学校の2年生が、自分達の進路について考える学習を行いました。

中学校では、進路について考え、進学先の選択を実際に行うのは中学3年生です。我孫子中学校では、中学3年生を迎える前に心構えや事前準備を行うために、中学2年生の段階で学年全体で、自分達の将来を考えるための学習を計画的に行っています。

我孫子中学校区では「TSUNAGU160号及び165号」で紹介したとおり、それぞれの小中学校が実施計画に基づき、計画的にキャリア教育に関する学習を行っています。

今回の中学2年生の授業も、Abi-キャリアの観点で参観すると、小中学校の繋がりが明確になり、9年間の系統的な指導の一助となります。

我孫子中の2年生が、自分達の進路について考えました！

まず、我孫子中の2年生が体育館に集合し、コの字隊形に整列しました。

次に、学年のキャリア教育担当教員が、子ども達に質問したり、子ども達の意見を聞いたりしながら、パワーポイントを活用して説明をしました。



○将来の夢は何ですか？

子ども達は、「将来の夢を叶えるために必要なものは何だろう？」と、一人一人が胸に問いかけました。そして、中学3年生で直面する「進路の選択」は、その第一歩であることを確認しました。

○進路は誰が決めるのですか？

決めるのは自分自身です。でも、何をどのように決めればいいのか？それを、これから一人一人が自分と向き合って考えていくことが今回の学習の目的です。



○どのような学校があるのでしょうか？

進学先と言っても、たくさんの種類があります。私立、公立、国立、学校の種類やそれぞれの特徴や違い等、まだ知らないことばかりです。また、入試の内容や面接の内容、高校入学後の部活等、これから知らなければいけないことがたくさんあります。



○では、中学2年生の今、何を頑張ればいいのでしょうか？

学習、生活、部活動等、これまで当たり前に行ってきたことも、将来のことを意識して臨むことが大切です。

○卒業生のお話を聞いてみよう！

次の時間の学習は、我孫子中学校の卒業生が来校して講話を行います。子ども達は、一番身近な先輩から聴いて、自分達のこれからの生かします。何を質問するか、これから考えていきます。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

平成29年7月14日
我孫子市小中一貫教育だより
第167号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

久寺家中学校で Abi-道徳の授業を実施したうなー！

7/11（火）に、久寺家中学校で Abi-道徳を活用した授業を実施し、中学2年生が「郷土愛」をテーマに学びました。

授業の様子や子ども達の声を中心に紹介します。

久寺家中の2年生が、Abi-道徳で「郷土愛」について考えを深めました！

久寺家中の2年生が「三番瀬」という資料を活用して、道徳の授業を行いました。

この資料は、自分の故郷である東京湾が汚い海、魚が住めない海と決めつけている主人公が、海で働く男の姿を見て故郷の海を身近に捉え、郷土を愛し大切に思うことの素晴らしさに気付いていく物語です。

子ども達は、主人公の気持ちに共感し、その思いを書いたりグループの友達に伝え合ったり発表したりして、「郷土愛」について考えを深めることができましたようです。



子ども達の声の一部を紹介します！

○主人公は、始めは面倒くさいという気持ちがあったけれど、海の男のかっこよさに魅せられて感動し、東京湾に関心を持ったのだと思います。

○故郷を大切に思いながら海で働く男の人の姿を見て、かっこよいと感じたことが、主人公の気持ちが変わったきっかけだと思います。

○私は、自分の住んでいる我孫子のことをもっと知りたいと思いました。そして、もっと大切にしたいとも思いました。

○修学旅行で、ガイドが鳥の博物館のことを知っていて説明してくれたことで、我孫子に自慢できるところがあることがわかりました。



平成31年度の小中一貫教育全市展開に向けて、Abi☆小中一貫カリキュラムを着実に推進し、各小中学校に浸透させていくうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年7月14日
我孫子市小中一貫教育だより
第166号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

湖北中学校で Abi-キャリアを活用した授業を実施したうなー！

7/10(月)と7/12(水)に湖北中学校で、Abi-キャリアを活用した授業を実施しました。

今回は、2年生と3年生が実施した授業の様子をご紹介します。

湖北中の2年生が、「人はなぜ働くのか」というテーマについて考え話し合いました！

7/10(月)に湖北中学校の2年生が、Abi-キャリアを活用した授業を実施しました。Abi-キャリアには、「自分発見学習パート2」として、職場体験学習に関する事前準備から実施後の振り返りやまとめまでの一連の学習の流れが紹介されています。

今回は、職場体験学習の事前準備の段階で、働くことの意義について考えグループで話し合いました。

生徒達の声の一部を紹介します！

- 自分の好きなことを仕事として選ぶことが大切だと思います。理由は、自分が楽しめれば長く続けられると思うからです。
- 好きなことが仕事として続けられて、好きなことが人のためになれば素晴らしいと思います。
- 私は、人のために働くことが働くことの意義だと思います。人のために働くことで達成感が得られると思うからです。
- 私は、経済的に余裕があった方がよいと思います。働くことで、生活ができたりご飯を食べたりすることができると思います。



湖北中の3年生が、「理想の実現」をテーマに道徳の授業を実施しました！

7/12(水)に湖北中学校の3年生が、Abi-キャリアを活用した道徳の授業を実施しました。「夢にかける橋」という千葉県教育委員会が作成した道徳教育映像教材を活用した授業で、大学受験に失敗し目標を失った主人公が、様々な人との関わりを通して自らを見つめ直し、価値のある生き方を求めようとする物語です。

子ども達は、主人公の気持ちに共感したことを書いたり伝えたりしながら、「理想の実現」のテーマについて考えを深めました。

生徒達の声の一部を紹介します！

- 父親の言うことを聞いて大学を目指すことは、上総掘りを世界に普及させるという夢をあきらめることではなく、夢を実現するために勉強をすることだと思いました。
- 夢を捨てて曖昧な考えで他のことをするのは良くないと思いました。自分の夢を実現するために一番必要なことを考えたいと思いました。
- 夢といっても、簡単に決めるのではなく、しっかりと考えて決めることが大切ということがわかりました。
- 夢の見つけ方や目指し方をしっかりと考えたいです。生き方や夢は、自分で考えたいです。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年7月7日
我孫子市小中一貫教育だより
第165号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

我孫子中学校の1年生がAbi-キャリアの学習を実施したうなー！

7/6(木)に、我孫子中学校の1年生が、職場体験学習の事前打ち合わせ会を実施しました。

この学習は、Abi-キャリアに、中学2年生が実施する「自分発見学習パート2」として紹介している内容です。我孫子中学校では、Abi-キャリアの指導案通りではなく、学校や生徒や地域の実態に合わせて授業の進め方や実施学年を工夫して実施しています。

これまで、このような学習は実施していましたが、Abi-キャリアを活用することにより、より小中学校の繋がりを感じながら中学校区のキャリア教育として実施することができるようになりました。(TSUNAGU160号では、同じ中学校区の我孫子第二小学校6年生が実施したキャリア教育の様子を紹介しました。)

また、授業の様子を、我孫子中区の小学校から教務主任が来校し参観しました。

学習の様子をご紹介します！

まず、体育館に1年生の全生徒が集まり、学年の代表の先生が8月に
行われる職場体験学習に向けての心構え等について話をしました。

(この会の後にすぐに挨拶にでかける生徒は制服で、後日でかける生徒
はジャージで参加しました。)

その後、生徒達は職場体験を実施する事業所ごとに分かれ、担当の
教員の諸注意を聞いた後、それぞれの事業所へ挨拶にでかけました。

子ども達の話聞く姿勢や、自分達で考えてきびきびと行動する様子
は、とても素晴らしく立派なものでした。

また、職業体験を行う事業所は、全部で100以上あり、それぞれの
グループごとに責任者の生徒が中心となって、自分達の力で各事業所へ
出かけます。中には、他市や県外の施設等、移動に時間がかかる事業所
を選択した生徒達もいますが、それぞれが、自分達で計画を立てて公共
の交通手段等を用いて出かけていきました。

8月の職場体験を実施した後は、お世話になった事業所から職業人
の方々をお招きし、講話会を実施し、学習の振り返り等を実施する予定
です。



小中学校で系統的なキャリア教育を実施することにより、我孫子市の
目指す「確かな学力を身に付け、夢を持ちチャレンジする子ども」を育
成します。Abi-キャリアは、小中学校の教員の意識を繋ぎ、より効果的
な指導を行うための一助となるうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年6月28日
我孫子市小中一貫教育だより
第164号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきやまさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中学校の教員が中学校の授業を参観し合ったぜー！

6/26(月)に布佐小学校で東葛飾教育事務所指導室訪問を実施し、市内の約半数の小中学校から教員が参加し、授業を参観したり各教科領域に関する協議を実施したりしました。

また、東葛飾教育事務所から所長を始め、指導室長及び指導主事の方々が来校し、東葛飾管内の指導行政施策の説明をいただきました。

これまでは、この行事は、小学校は小学校で、中学校は中学校でそれぞれに年1回ずつ計2回実施していましたが、今年度から、小中学校の交流も兼ねて実施することとなり、今回は、今年度の第2回目の実施となりました。(第1回目の様子は、「TSUNAGU 156号」で紹介しました。)



<全体会の様子>

布佐小学校の教員が実施した授業を小中学校の教員が参観しました！

布佐小学校で、国語科、算数科、生活科、音楽科、体育科、家庭科、外国語活動、道徳科(※)、特別支援教育の教科領域等に関する授業を展開し、その様子を、我孫子中、湖北中、布佐中、我孫子二小、我孫子三小、湖北小、高野山小、新木小、布佐南小の9校から教員が来校し参観しました。

中学校の授業を小学校の教員が参観したり、協議会で小中学校の教員が交流し、同じテーマに沿って話し合ったりと、小中一貫教育の観点でも実りのある時間となりました。

(※)道徳は、平成30年度の教科化の観点を踏まえた指導案となっているため、「道徳科」と記載してあります。

授業の様子の一部を紹介します！

小学校で行われた各授業は、様々な場面で、ペアやグループ形式の活動を取り入れ、児童の主体的な活動や児童同士の対話を生み出す工夫がされていました。そのため、子ども達が生き生きと学ぶ姿を、各教室で見ることができました。

これらは、過日に湖北台中学校で実施した指導室訪問の中で見られた生徒の姿と同じであり、学校や地域や教員が異なっても、我孫子市の教育活動は同じ方向に向かって行われていることが実感できました。



<2年生 国語科>



<3年生 道徳科>



<4年生 音楽科>



<5年生 外国語活動>

授業後に協議会を実施し、小中学校の教員が見識を深め合ったうなー！

授業及び全体会終了後に小中学校の教員は、各教科領域等ごとに分かれて、協議会を行いました。小中学校の教員が校種を越えて交流し、本時の授業の内容に留まることなくよりよい授業づくりについて意見を出し合い、見識を深め合う有意義な時間になりました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年6月28日
我孫子市小中一貫教育だより
第163号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

我孫子第一小学校で実施した授業を、Abi-キャリアの観点で参観したうなー！

6/21(水)、22(木)に、我孫子第一小学校で国語の授業を実施し、その授業をAbi-キャリアの観点も踏まえて参観しました。

我孫子第一小学校では、国語を研究教科に設定して校内研究を実施していますが、国語だけではなく、生活科や総合的な学習の時間と関連させたりキャリア教育の観点と結びつけたりして、子ども達の生きる力を育む努力を続けています。

今回は、Abi-キャリア実施の観点も踏まえて、我孫子第一小学校の校内授業研究会の様子をご紹介します。

我孫子第一小学校の子ども達の学びがAbi-キャリアの観点にも結び付きます！

6/21(水)に我孫子第一小の2年生が「学校で見つけたすてきな生きものをつたえよう」という単元名の授業を実施しました。

子ども達は、これまでの授業の中で、学校の周りに生息する生き物を観察し、素敵と感じた生き物について順序立てて話すためのメモを作りました。この時間では、メモの内容を基に、友達に上手に伝えたり、友達の話をしっかり聞いてよいところを探したりする学習を行いました。



また、6/22(木)には、5年生が「すいせんしよう 我孫子ベスト・スリー」という単元名の授業を実施しました。

我孫子第一小学校の5年生は、林間学校で我孫子市の魅力を他の宿泊者に伝える学習を、総合的な学習の時間に位置づけて実施しています。今回の授業では、そこで我孫子の魅力をよりわかりやすく伝えるために、聞き手が納得できる話し方についてグループ単位で話し合ったり考えたりしました。



子ども達は、ペアやグループで伝え合ったり話し合ったりする活動を通して、国語の学習で育まれる力だけではなく、キャリア教育の目標である、自ら課題を発見する力や友達とコミュニケーションをとる力を育むことができたようです。

キャリア教育では、全ての教科・領域等を通して、子ども達のコミュニケーション力や忍耐力や課題発見力等を付けさせ、自己や他者を肯定的に理解したり、勤労を重んじ目標に向かって努力したり、憧れる自分をイメージして実現を目指したりできる子どもの育成を目指します。

そして、キャリア教育を通して小学校で生まれた力が、中学校でどのように繋がっていくのかを中学校区で共通理解を図り、目指す15歳の子どもの育成を目指します。Abi-キャリアの活用は、そのための一助となるうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

平成29年6月26日
我孫子市小中一貫教育だより
第162号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



白山中学校で Abi-道徳の資料を活用した授業を実施し、市内中学校初任者が参観したうなー！

6 / 20 (火) に白山中学校で中学校初任者研修が行われました。

この初任者研修は、白山中学校の教員が道徳の授業を展開し、その様子を市内中学校の初任者が参観し、道徳授業展開の方法について見識を深め合うことを目的として実施しました。

今回の道徳の授業は、Abi-道徳に紹介されている「ハゲワシと少女」という資料を用いて授業者の教員が、学校や学級の実態に合わせて指導案を工夫改善し実施しました。

授業の様子と生徒達の声を中心に紹介します。

白山中学校2年生教室で Abi-道徳の資料を活用した道徳の授業を行いました！

「ハゲワシと少女」は、地面に横たわる少女をハゲワシが狙っている瞬間を、あるカメラマンが撮影した写真です。

正に1人の少女の命の瀬戸際を目の前にして、シャッターを切ったカメラマンの心の葛藤に焦点を当てて考えることで、生徒達が「命の大切さ」について気付いたり考えを深めたりすることをねらいとして実施しました。

今回の授業は、「ジグソー法」という方法を活用し、グループ単位の話合いを授業の中心にした展開でした。中学校では平成31年度から道徳は教科化されます。道徳の授業の転換期にある今、今回の授業は、新しい授業の視点を投げかけるものであったと感じました。



生徒達の声の一部を紹介します！

- カメラマンは、写真家として写真を撮る決断をしました。でも、その後に、怒りと悲しい気持ちが湧いてきて泣き続けた、と資料にあります。これは、自分への怒りや悲しみなのだと思いました。
- 少女の国では、内戦や干ばつで、餓死してしまう子ども達が多いことがわかりました。きっと、カメラマンは、そのような国の状況を他の国の人達に伝え、より多くの人を助けることにつなげたかったのだと思いました。
- 目の前の命は、とても大切なものです。写真を撮った後に、すぐに助けられればいいと思いました。

Abi-道徳は、「命の大切さ」の観点について、小中学校の繋がりを明確にして道徳の授業を実施するための一助となります。
自分に自信を持ち自他を大切にするのできる我孫子市の子ども達の育成を目指し、Abi-道徳の活用を推進するうなー！





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続において

平成29年6月16日
我孫子市小中一貫教育だより
第161号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

今年度も Abi☆小中一貫カリキュラムの実施計画に沿って、平成31年度の全市展開に向けて準備を進めるうなー！

我孫子市では、平成31年度の小中一貫教育の全市展開を目指して、推進を続けています。これまでもお伝えしてきたとおり、我孫子市では、次の2点を推進の柱としています。

我孫子市小中一貫教育推進のための2本柱

◎カリキュラムで小中学校を繋ぐ

⇒Abi☆小中一貫カリキュラムの実施

◎中区で15歳の子ども像について共通理解を図り、達成のための方策を話し合う。

⇒グランドデザインの作成

また、「TSUNAGU 115号」で紹介したとおり、昨年度より、教務主任が中心となって計画を立案し、「Abi☆小中一貫カリキュラム」を実施してきました。

昨年度は、計画に沿って「Abi☆小中一貫カリキュラム」の授業を実施し、同じ中学校区の小中学校の教員が授業を参観し合ったり、授業後に協議会を行い見識を深め合ったりすることができました。

今年度は、4年計画の2年目です。今年度も、引き続き計画に沿って各校で授業を実施し、平成31年度の全市展開に向けて準備を進めていきます。

4年間で計画的に実施！

各中学校区で、「ふるさと」「キャリア」「道徳」「ICT」の4つを、平成28年度から、1年ずつ順番に各校の教育課程に組み込んで実施していきます。実施の順番は、中学校区ごとに話し合いを行い決定しました。

中学校区	H28 (実施済)	H29 (今年度)	H30	H31
我孫子中区	ふるさと	キャリア	道徳	ICT
湖北中区	道徳	キャリア	ふるさと	ICT
湖北台区	キャリア	ふるさと	道徳	ICT
久寺家中区	道徳	キャリア	ふるさと	ICT
白山中区	道徳	キャリア	ICT	ふるさと

※布佐中区は推進地区として小中一貫教育を先行実施しています。そのため、今回の計画の対象外となります。

※Abi-Englishは、既に市内小学校の教育課程に組み込まれているため、今回の計画の対象外となります。

※平成30年度以降の計画は、変更となる場合があります。

